

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
母性看護学方法論Ⅲ	2年次 後期	必修	講義	1単位（30時間）	明地由紀子 ※
授 業 概 要					
<p>新生児期及び産褥期の特徴や生理的な変化を理解し、必要な基礎的看護を学ぶ。また、健康維持や正常からの逸脱やその予防のための継続看護の必要性について理解する。さらに母子・父子関係や地域の支援について学ぶ。</p>					
到 達 目 標					
<p>1. 新生児期の特徴を理解することで、新生児期が正常に経過するための看護を説明する。  2. 新生児期に起こりやすい異常について理解し、必要な看護を述べる。  3. 産褥期の特徴について理解し、健康を維持するための必要な看護を説明する。  4. 産褥期に起こりやすい異常について理解し、必要な看護を述べる。  5. 新生児の清潔ケアを実施する。</p>					
回	学 習 内 容				担当教員
1-4	1. 新生児期の特徴と看護 1) 新生児の定義 2) 新生児の形態・機能 3) 新生児期の看護 (1) 出生直後の看護 (2) 出生後から退院時及一か月検診までの看護 2. 新生児期の異常と看護 1) 新生児仮死 2) 高ビリルビン血症				明地由紀子 ※
5-7	3. 産褥経過の特徴と看護 1) 産褥期の定義 2) 退行性変化及び進行性変化 3) 産褥期の看護 (1) 出産後から退院までの経過と看護 (2) 社会資源と関係職種の連携 (3) 母乳育児支援				外部講師
8-9	4. 産褥期の異常と看護 1) 子宮復古不全 2) 産褥期の発熱 3) 産褥血栓症 4) 精神障害				明地由紀子 ※
10-11					外部講師
12-15	5. 新生児の清潔ケアの実際 1) 清拭 2) 沐浴				明地由紀子 ※
学 習 方 法					
<p>講義・演習方式で進める。産褥期と新生児期の知識と技術を習得し、臨地実習へと応用するために、継続的な自己学習が必要である。また、限られた時間で専門性を深める学習を行うため、日常から周産期の人々への関心を高める必要がある。</p>					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 科目修了試験					
先 修 科 目					
なし					
教 科 書、参 考 書					
〔教科書〕 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学〔2〕 母性看護学各論 森 恵美 他 医学書院 病気が見える vol.10 産科 岡庭 豊 メディックメディア 根拠と事故防止からみた 小児看護技術 浅野みどり 医学書院					